

学校関係者評価

※ 評価Ⅲの基準

4: よく取り組んでおり、成果が大きい
2: 取り組んでいるが成果が十分でない

3: 熱心に取り組んでおり、今後が期待できる
1: 取組が不十分である

学校関係者意見等	評価Ⅲ
<p>1 教育・学習内容を充実させ、確かな学力の育成と健やかな体づくりに取り組む</p> <p>・方向性が学校全体(教員、保護者、生徒)がずれないため、とてもスムーズに動いていて評価できる。 ・生徒並びに教職員へのアンケート結果について、認識に差異がある場合に、生徒の集計結果を教員へ提示の上、今後の授業展開に活かすよう促すという対策を取られる予定ということで、これは大変有効であると考えます。 ・「確かな学力」をどう捉えるかという課題はあるが、各種調査の結果(平均点)からは、おおむね安定した学力が身に付いていると思われる。ただ、教員の意識と生徒の意識との乖離も若干見られるので、普段の授業改善に生かす取り組みができればより成果が出るのではないかと感じた。</p>	3.5
<p>2 心の教育を充実させ、自己実現の意識の高揚を図る</p> <p>・普段の学校生活での取り組みは我々にはわからないが、職員研修のみならず、さまざまな生徒向けの研修や講演会などを実施し、学校として一定の取り組みを行なっていることがよくわかった。 ・1、2年生を対象に「いのちのこころの講演会」、3年生を対象に「赤ちゃん教室」の開催をはじめ、人権講演会等、生徒はもちろんのこと、教職員に対してもしっかりと実行されていることは、大変有効であると感じました。 ・教員のアンケート結果からも、しっかりと対応しているという認識が伺えました。 ・不登校生徒の人数をお聞きし、面談の機会等を設ける等、様々な選択肢(フリースクール等)がある現状では、しっかりと対応されていると感じました。</p>	3.5
<p>3 家庭・地域・学校の連携を深め、活力に満ちた学校園づくりに取り組む</p> <p>・学校、地域、家庭の連携がとてもスムーズである。 ・体育大会が今年度は諸事情等もあり、平日開催であったと存じますが、共働き家庭が増えている現状、より多くの保護者並びに地域の方々に観てもらえるよう、従来の土曜日開催も検討してもらえそうです、保護者の立場としてはありがたいです。 ・学校評価アンケートからは、保護者の回答率が低く、保護者としての意識の有り様があまり伝わってこない。善意に解釈すれば、学校に任せていて大丈夫という安心感によるものかもしれないが、地域との連携については、資料からはほとんど見えてこないで、このような評価が必要なならば、難しいとは思いますが、何らかの方法で地域の学校に対する見方を吸い上げていく方を考えることも必要かもしれないと思った。</p>	3
<p>4 安全な教育環境を確保し、防災意識の高揚を図る</p> <p>・通学等の様子を見ても、最近しっかり取り組んでいると評価できる。 ・防災意識を高めるべく、東日本大震災の被災支援経験談を校長自ら実施されたこと、南海トラフ地震を想定した生徒等の避難について、自分のいる現在地の場所でどう避難するかを見据えた行動指針を検討されていること等は素晴らしいと感じましたし、避難所になりうる中学校在学中の心構えとしても有効であると感じた。 ・長年にわたって積み上げてきた取り組みが生かされていると感じたが、防災については状況が以前と変わってきているところもあるので、これから起こるかもしれない事象に備えることも必要と感じた。</p>	4
<p>■教育目標</p> <p>・満点とは言わないが、すべてに対してよくできている。特に、親の意識も以前よりは高い。 ・教員のアンケート結果から、目標に向けての教育活動の展開について等、しっかりと意識されて授業を担当されていると思います。</p>	3
<p>■研究テーマ</p> <p>・意欲は見受けられるが、「やればできる」根性で取り組んでほしい。 ・校内研究授業を実施されている等、お聞きしまして、より良い授業を目指していることが伺えました。</p>	3
■	
<p>評価項目 (A:優れている B:適切である C:おおむね適切である D:要改善)</p>	評価Ⅳ
アンケート等、自己評価の根拠となる資料は適切か	A
自己評価の結果の内容は適切か	B
自己評価の結果を踏まえた今後の改善策は適切か	A